

科目名	単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
理科演習	4	3年・普通科	選択I	高等学校 改訂 化学基礎 (東京書籍) 高等学校 生物基礎 (第一学習社) 地学基礎 (数研出版)	チェック&演習 化学基礎 地学基礎 (数研出版) セミナー生物基礎 (第一学習社)

学習目標	・基礎科目を復習し、理解を深める。
主な学習内容	・1年次および2年次に学習した「化学基礎」と「生物基礎」が「地学基礎」の復習・問題演習を中心に行う。
評価の観点・規準	「思考・判断・表現」「知識・理解」に関しては定期考査を主な評価の判断材料とはするが、授業中に発問への答えが適切であったかどうかや小テストの点数が学習内容を十分理解しているかどうか、実験レポートの内容も自己の意見が取り入れていたり、疑問点が記載されていたりと十分な思考がなされているかどうかを判断材料として評価する。「関心・意欲・態度」に関しては授業中の取組や質問の積極性、レポート等の内容に学習意欲が感じられるか等を主な評価の判断材料として評価する。「観察・実験の技能」に関しては実験中の器具の取り扱い方が教員の指示に忠実かどうかや、後片付けに関しても熱心かどうか、また、レポートの内容も十分に実験の手順や意図を理解しているかどうか等を主な評価の判断材料とする。
評価の方法	「思考・判断・表現」「知識・理解」「関心・意欲・態度」「観察・実験の技能」について観点別に評価し、総合的に判断して成績をつけます。 ただし、実験等にはなかなか時間はさけないと思われるので「思考・判断・表現」「知識・理解」「関心・意欲・態度」の観点を重視することとなる。

学期	内容 地学基礎	内容 生物基礎
1 学期	第1編 惑星としての地球 第2編 活動する地球 宇宙の惑星としての地球の特徴、活動する地球、プレート、火山活動と地震の発生のしくみについて、理解を深める。	第1章 生物の特徴 真核細胞・原核細胞の違い、生命の起源、細胞構造、代謝についての知識・理解を深める。
	第3編 天気と海洋 大気と地球全体のエネルギー収支について理解を深める。	第2章 遺伝子とそのはたらき 遺伝子の本体であるDNA、タンパク質、遺伝情報の伝わり方についての知識・理解を深める。
2 学期	第4編 移り変わる地球 第5編 地球の環境 地層が形成されるしくみと地質構造について、地球環境の変化について理解を深める。	第3章 生物の体内環境とその維持 腎臓・肝臓のはたらき、自律神経とホルモンの協調、免疫についての知識・理解を深める。
	第6編 宇宙の構成 太陽の活動のようす、一生、恒星と宇宙の誕生を理解し、宇宙の構造を知る。	第4章 植生の多様性と分布 第5章 生態系とその保全 植生の遷移、気候とバイオーム、物質循環とエネルギーの流れ、生態系のバランスについての知識・理解を深める。
3 学期	問題演習 実際に問題を解くことによって、1年間学習した内容の理解をさらに深める。	問題演習 実際に問題を解くことによって、1年間学習した内容の理解をさらに深める。

学期	内容 化学基礎
1 学期	第1編 1章 物質の探究 2章 原子の構造と元素の周期表 問題演習 物質を構成する粒子についての知識、理解を深める。
2 学期	2章 酸と塩基 問題演習 酸性、塩基性の物質の性質やその反応についての知識、理解を深める。
3 学期	問題演習 実際に問題を解くことによって、1年間学習した内容の理解をさらに深める。

備考 ・講座の特色 ・履修条件 ・注意事項 等	地学基礎・生物基礎・化学基礎の3つから生物・化学または生物・地学と2つ選んで、それぞれ2単位、計4単位学習。 化学・地学の組み合わせで選択することはできない。 大学入試の「共通テスト」(旧センター試験)で理科教科2科目必要な文系生徒用の科目です。 2単位別々の内容を学習しますが、評価は4単位で行います。 各学期、中間テスト・期末テストを行います。
-------------------------------------	--